

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	広島支部	(2) 記載者氏名:	吉見 良一	会員番号:	8216	事務局整理記入欄	広島 - 051
分水嶺区分	1138m峰～W5455県境1100m鞍部(W546とW545の)	(3) 山行日:	2004年	10月	2日	(4) 天候	雨

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号				
佐々木弘磨	12693	井ノ口 孝臣	13714					
野間 弘	12662							
吉見 良一	8216							
広田 忠彦	広島山稜会							
計			5名		計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		ツリハシ谷入口～ツリハシ谷～県境稜線～ツリハシ谷入口											
アプローチ:		広島～吉和～三坂・八郎林道～ツリハシ谷入口(幕営地)											
地点コード	地点名	25万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	ツリハシ谷入口 (千両橋)	野入								10:25	10:30	A-2	
分水嶺到達点	県境稜線 1138m	野入	132	2	40.9	34	30	46.4	1,138	11:10	11:30	B-2	(9), (10)
	大神岳への分岐	野入	132	2	52.1	34	31	6.6	1,113	12:15	12:45	B-2	(9), (10)
	地形図 1059m	野入	132	2	58.3	34	31	31.7	1,102	13:48	13:50	B-2	(9), (10)
	この地点より引き返す												
分水嶺離別点W545	県境稜線1000m鞍部	野入	132	2	52.6	34	31	14.0	1,100	14:10	14:10	B-2	(9), (10)
	二艘林道	野入								14:20	14:20	A-2	(9), (10)
歩行終了点	ツリハシ谷入口	野入								15:10			
総歩行時間(休憩時間を除く):												4時間20分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

県境で分水嶺稜でもあるこの稜線は、1977年前後に伐採されて360度の展望を得た事がある。その後、杉の植林と雑木の成育が進み、現在は樹高10～20mの二次林に成りまったく展望はきかない。杉の植林地では地表が出て草木も無い所もあるが、大半は雑木林と共生した笹藪になっている。又、この一帯は年間降雨量も多く、杉、檜の大木が随所に群生している事から、林床の湿度も高いものと考えられる。南北に位置する分水嶺稜線の西側は広葉樹林帯、東側は杉、檜の多い植林帯である。エビネ、イワカガミの株も見られる。谷筋ではキバナアオキギリ、アケボノソウ、ツリフネソウ、オタカラコウ、ウドの花等を見る。

(10) その他の特記事項

W546 1132m峰～W545小郷山は南北に走り、広島県と島根県との県境に有り分水嶺である。この山域の一部に位置する南の標高1138m峰～北の1059m峰へは、大田川水系の支流・八郎川の奥から、ツリハシ谷を遡行して至る。県境稜線の西側は島根県で高津川水系、東側は広島県で八郎川、大田川水系の源流である。山と谷との高低差は小さいが、尾根は複雑に分岐している為に歩行には要注意である。地形図1059m峰南側の県境稜線・分水嶺には、所々に細尾根がある。一般にこの稜線には雑木が良く繁っているが樹種は少ない。ニソウ谷では有名な「二艘船岩」を見る。
--

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: